

グエン ティ フォン ラン さん (ベトナム)

「スマホに支配される私たち。」

皆さんは1日にどのくらいスマホを使っていますか。スマホは今の生活に欠かせない存在ですが、便利すぎるために、スマホに「支配」されているように感じる場合があります。最近では、AI技術にも頼る人が増えていますが、自分で考える力や創造力が弱くなってしまう危険があります。スマホやAIは私たちの生活を便利してくれます。しかし、本当に大切なのはスマホの中でなく、目の前にある現実です。時々スマホを置いて、自分の時間と考える時間を大切にしてみませんか。



スピーチ動画

「日本に来ての感想」

中国の遼寧省の瀋陽市から来ました。大阪と北海道に興味があります。大阪は、たこ焼きやお好み焼きなどの美味しい食べ物や、有名な観光地があります。北海道の雪まつりは世界的に有名で、スキーもしたいです。是非行ってみたいと思います。瀋陽市は北海道の季節に似ています。一番有名なのが故宮です。朝市では、鍋包肉が美味しくて人気です。冬は寒くて室内でしか運動できないので、友達とバドミントンをすることは、私の冬の楽しみです。是非一度、瀋陽を訪れてみてください。



スピーチ動画



オウオntax さん (中国)



ウォン ティ リン さん (ベトナム)

「私の父のこと！」

子どものころ思い描いていた理想の男性像は、成長するにつれ少しずつ変わってきました。父の姿を見てきたからです。父は、責任持って生きること、目上の人を敬い、年下の人には優しく接するように、と常に言いました。努力を続けることの大切さも教えてくれました。そして常に私たちに愛情を注ぎ、力を尽くしてくれました。両親は私たちに信頼し応援してくれています。それが今の自分の大きな原動力になっています。家族に感謝を忘れず、何より父を心から尊敬し愛し続けます。



スピーチ動画



No.112

こんぺいとう

発行：春日部市国際交流協会



第30回 外国人による日本語スピーチ発表会

主催/春日部市国際交流協会・春日部市 後援/春日部市教育委員会

KIFA イベント情報
Kasukabe International Friendship Association's event information



問い合わせ先は、このページ下部にあります。

日本語教室のお知らせ・日本語教室ボランティアスタッフ募集中

外国人の日本語学習をサポートする日本語教室を開いています。春日部市や近くに住む外国人に、日常会話などの日本語を教えるボランティアに参加してくれる方も随時募集しています。

詳細はこちらから



教室の開講時間・場所(参加費は無料です)

- (1) 粕壁市民センター(中央公民館) 春日部市粕壁6918-1 電話: 344-0061
 - (2) 庄和市民センター正風館(庄和地区公民館) 春日部市大塚307-1 電話: 344-0116
- ①【毎週木曜日】午後7時～午後9時
②【毎週土曜日】午後2時～午後4時
- ①【毎週火曜日】午前10時15分～午前11時45分
②【毎週水曜日】午後7時15分～午後8時45分

- ※ 祝日など休みの日もあります。最新の情報は、下記の問い合わせ先まで。
- ※ 予定が合う教室、日程に参加できます。教室の見学もできます。
- ※ 2026年4月から場所が「庄和会堂」から「庄和市民センター正風館」に変わります。





第30回 外国人による日本語スピーチ発表会

令和8年(2026年)1月25日(日)粕壁市民センター(中央公民館)において春日部市国際交流協会と春日部市の主催による第30回外国人による日本語スピーチ発表会を開催しました。



ホー ティ ビック さん
(ベトナム)

「日本の優しさは私を成長させる」

私は18歳のとき、家族と離れて日本での生活を始めました。楽しみよりも、不安の方がずっと大きかったことを今でも覚えています。そんな私を支えてくれたのは、たくさんの「優しさ」でした。日本で出会った人々、経験してきたこと、すべてが私を強くし、前へ進む力を育ててくれました。振り返ると、どんなときも私は一人で頑張っていたわけではありません。いつも周りに「優しさ」があり、そのおかげで今の私があります。遠い国から来た小さな私を育て、決して背を向けず、いつも温かく迎えてくれた「優しい日本」に、心の底から感謝します。

スピーチ動画

「日本の生活」

私は多くのことに興味があります。会社にある麺のサークルでは、ラーメンに関する情報を共有しています。鉄道博物館では、電車の文化について理解を深めました。日本の音楽も大好きで、ライブやレコード、CDを楽しんでいます。時々、サイクリングもします。いつか四国のしまなみ海道でサイクリングできたら本当に幸せだと思います。日本には美しい場所がたくさんあり、仕事以外にも様々な活動があるので、日本の生活がとても気に入っています。

スピーチ動画



車 姝 (シャ シュ) さん
(中国)

「私の故郷」

私の故郷は瀋陽です。中国東北地方遼寧省の省都、今から700年余りの歴史があります。瀋陽は美しい都市で、たくさんの観光スポットがあります。最も有名なのは、瀋陽故宮です。中国に現存する最も完全な2つの宮殿建築群の1つで、2004年に世界遺産に登録されました。また、瀋陽にはたくさんの美食があります。餃子や酢豚、冷麵、不老林飴、瀋陽鶏からなどです。瀋陽はおいしくて、面白くて、きれいな都市です。みなさんが来てくれることを歓迎します。

スピーチ動画

「タイと日本の違いについて」

日本に来て約2年になります。春日部高校の定時制で勉強しています。タイの道路は信号機が少ないですが、日本は多いので驚きでした。タイでの移動は、後ろにお客さんを乗せて走るチャトルドライバーが、住民の足となっています。日本に来たときは、どこに行っても水洗トイレなのでびっくりしました。タイでも早く下水道設備ができることを願っています。これからの生活の中で、多くの方とお話をして、いろいろなことを吸収して、日本の生活に慣れていきたいと思っています。

スピーチ動画



スーパー プラティパー
ヴィーランハ さん
(スリランカ)

「手元がないものが教えてくれたこと。」

人はなぜ手元がないものを欲しがるのでしょうか。それは、手元がないものこそ、心を動かし、成長や希望、愛を教えてくれるからです。ある日、道に迷っていた私に、見知らぬ女性が声をかけてくれました。私の手元になかった安心と勇気を届けてくれました。私は思いました。「手元がない」と感じていたのは、気付いていなかっただけなのだ。手元がないものが教えてくれたこと、それは、「すでに持っているものの価値に気づく力」と「誰かの優しさを自分もまた返していきたい」という思いでした。

スピーチ動画



フローレス パトリシア さん
(メキシコ)

「外国での育児が本当の異文化交流！」

私は、メキシコの首都メキシコシティで生まれました。日本人と結婚して、子どもが2人います。娘は中学1年生、息子は小学2年生で、私の日本語の勉強を助けてくれます。メキシコの小学校には、教会があります。体育の授業はありません。一番の違いは、給食です。メキシコでは、おやつを含めて1日5回食事をします。勉強は、日本のほうが少し多いと思います。子どもたちには、日本語とスペイン語の両方が出来るようになって、国際的な仕事をするようになって欲しいと願っています。

スピーチ動画

「日本とパキスタンの違い、将来の夢」

パキスタンから来ました。家族は5人です。日本にはたくさんおいしいものがありますが、イスラム教ではアルコールと豚肉は禁止です。日本語教室は、とても好きです。先生にとっても感謝しています。日本人は親切で勤勉な人たちです。日本ではゴミを4種類(もえるゴミ・もえないゴミ・リサイクル・粗大ゴミ)に分けます。パキスタンにもゴミに関するルールはありますが、日本のように厳しくありません。私の望みは、大きいトラックを運転することです。ドライブしながら日本の美しい景色を見たいと思っています。

スピーチ動画



アムナ ムシュタク さん
(パキスタン)



ティン ティ ミン リ さん
(ベトナム)

「両親への感謝」

ベトナムには「父の恩は山のように高く、母の愛は源から湧き出す水のように絶えることがない。両親を敬い、親孝行を全うしてこそ、真の子どもである」という諺があります。両親が私を育てるためにどれほど苦労してきたか分かっていましたが、当時の私は深く考えることはありませんでした。そして、子どもを産んでから「子どもを持ってこそ、親の心が分かる」という言葉の意味がよく分かりました。日々年を重ねるごとに、私は多くのことに気付かされます。両親と家族が健康でいてくれること、それが私にとっての本当の幸せです。

スピーチ動画

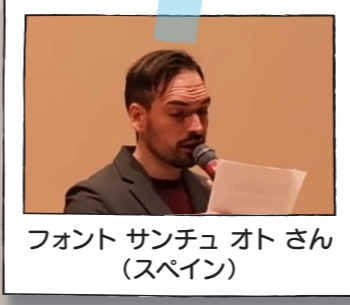
「日本の生活」

私はガーナで生まれ育ち、2023年に日本に来ました。日本語が全く分からなかったのですが、地域の日本語教室に参加し日本語の基礎を学びました。日本語検定のN4・N3を取るために今も勉強を続けています。この2年間日本に住んで、文化、技術、ライフスタイル、食べ物など私の人生に大きな影響を与えてくれました。アルバイトは素晴らしい経験でした。日本での生活をサポートしてくれているすべての人々に感謝申し上げます。

スピーチ動画



キエイ リッチモンド さん
(ガーナ)



フォント サンチュ オト さん
(スペイン)

「文化的影響」

大学時代「人類学」に出会い、人や文化の「ちがいを」研究すると同時に「共通点」を研究する学問だと気付きました。その後さまざまな国で暮らし、どの文化にも素晴らしい個性がある一方で、私たちをつなぐ多くの「共通点」があることを強く感じるようになりました。文化は、それぞれ独自でひとつひとつ違うけれど、ひとつの文化から成り立っているわけではなく、世界のあらゆる影響を受けて少しずつ形作られた美しい存在なのです。私たちに影響を与え、成長させてくれるすべての文化に、私の人生に寄り添ってくれていた日本文化に、心から感謝します。

スピーチ動画